

未来を展望しつつ、日々の着実な歩みと検証を

～「三鷹市自治体経営白書 2008」の発行にあたって～

今年も、前年度における三鷹市の主な取り組みの進捗度と成果を明らかにした「自治体経営白書 2008」をとりまとめました。

私は市長に就任してから毎年、マニフェストの反映を含む施政方針の実行度を示すために、行政評価に基づいた各施策・事業の進捗度と成果について取りまとめた「自治体経営白書」を発行してきました。白書では、目標を達成した取り組みだけを紹介するのではなく、未達成となった課題についても市民の皆様様に率直にお示ししてきています。

私は、翌年度の政策を検討するにあたっては、毎年秋の各部との「政策会議」の議論をスタートに、自身の政策ビジョンと各部の自発的な政策提案とをきめ細かく協議しています。その協議に基づき、各部の部長が責任をもって作成し、市民代表たる市長との「成果契約」とも言える「各部の運営方針と目標」をまとめます。各部が掲げた主要事業については、しっかりと行政評価を行い、その進捗度を客観的に評価し、関係する課題について分析検討しています。このことは、「次なる一步」を踏み出すための市民の皆様からの信頼の基礎となる過程だと信じています。どのような市政の分野であれ、新たな取り組みへの挑戦を進めるには市民の皆様からの信頼が不可欠です。その信頼の源は、行政による透明・公正を担保する徹底した情報公開と、安定感のある日々の経常業務にあると考えています。

平成 19 年度は、「第 3 次三鷹市基本計画」の第 2 次改定に取り組み、従来は 6 つであった最重点プロジェクトに「都市の更新・再生プロジェクト」を加えて 7 つとしました。都市として成熟期を迎えた市制施行 58 年目の三鷹市は、公共施設を積極的に更新していくべきまちづくりの転換期を迎えていることから、多角的に、最適で効率的な「未来への投資」を進める必要があります。この「未来への投資」は、小・中一貫教育に象徴される「人財の育成」や、全ての世代が安心して暮らすことのできる「セーフティネットの構築」という重要な方向性も含んでいます。これらは、どれひとつとっても、重要かつ迅速な対応が求められる課題であるとともに、その取り組みに対しては長期的視点に立って段階的、計画的に進める必要性もあります。そこで、平成 20 年度には企画部に都市再生担当部長を配置するとともに、都市整備部に新たに公共施設課を新設し、教育委員会を含めて全庁の公共施設の一貫性をもった改修・建て替え等を進める体制も整えました。

一方で、市政が今日直面している多様な行政課題に向き合い、解決の方向性を見つけ、実行していくためには、基本的な経常業務の安定的な実行はますます重要性を増

しています。そこで、私が最重点課題としているのが、「ユビキタス・コミュニティの推進」です。経常業務の運営管理に最適に ICT（情報通信技術）を利活用することは基本的に有用です。そして、市民の皆様と市政、市民の皆様同士をつなぎ、市民の皆様の満足度を向上するための手段として、各部の連携と「民学産公の協働」により、「いのち・しごと・くらしが輝く」地域での情報化が欠かせません。同時に、利用者に存在を意識させないほどの円滑な運用と徹底したセキュリティマネジメントが必要ですから、三鷹市では「ユビキタス・コミュニティ推進基本方針」を策定してその推進を図るとともに情報セキュリティ・マネジメントシステム（「ISO・27001」）の運用に取り組んでいます。

こうしたことから、「自治体経営白書」の巻頭に掲載している三鷹市の自治体経営改革に資する学識研究者の論考について、今年は人間社会と情報通信技術の関係について多角的に研究を進めていらっしゃる慶応義塾大学総合政策学部教授の國領二郎先生に執筆をお願いしました。「住民のエンパワーメントを目指す地域情報化を」という標題でご寄稿いただきましたので、協働のまちづくりに反映していきたいと思えます。

三鷹市のような基礎自治体は、相変わらずの厳しい経済財政状況の中、創意工夫と日々の着実な取り組みの積み重ねにより、着実に解決への道のりを進んでいくことが求められています。私は、職員と共に、常に「学習する組織づくり」を進め、現在の施策に対する真摯な検証を行います。同時に、市民の皆様の幅広い声を受け止めて反映しつつ、新たな政策やビジョンを提案することによって、「更なる挑戦・みたか新時代」を切り拓く創造的な夢のあるまちづくりを進めていきたいと思えます。創刊後 7 冊目となるこの「自治体経営白書 2008」が、市民の皆様との情報共有の機能を果たし、市民の皆様と進める「協働のまちづくり」の更なる推進の一助となり、今後の改革の方向性を示すものとなることを願っています。

平成 20（2008）年 7 月

三鷹市長 清原慶子

三鷹市自治体経営白書 2008 目次

「未来を展望しつつ、日々の着実な歩みと検証を」 三鷹市長 清原 慶子
 「三鷹市自治体経営白書 2008」の構成

特別寄稿	
1 「住民のエンパワーメントを目指す地域情報化を」	2
慶應義塾大学総合政策学部教授 國領 二郎	
I 基本構想で定める「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み 平成 19 年度	
1 「地域再生計画の推進と国立天文台と連携した人財育成」について	14
2 市民との協働による絵本館プロジェクトの推進	16
3 配水管の更新によるライフラインの耐震化の取り組み	18
4 環境マネジメントシステム・ISO14001 の運用と「サステナブル都市」の評価	20
5 市長表彰・ベストプラクティス表彰の取り組み	22
6 基本計画改定における「まちづくりディスカッション」の実践	23
II 第3次基本計画（改定）の達成状況 平成 19 年度	
1 概要説明	28
2 第3次基本計画（改定）全 35 施策の達成状況	29
3 平成 19 年度事業評価 評価結果概要	65
III 「各部の運営方針と目標」の達成状況 平成 19 年度	
1 企画部	72
2 総務部	78
3 市民部	83
4 生活環境部	87
5 健康福祉部	94
6 都市整備部	100
7 水道部	107
8 教育委員会	111
IV 行財政改革アクションプラン 2010 の達成状況 平成 19 年度	
1 概要説明	120
2 行財政改革アクションプランの達成状況	121
（1）主要な財政目標の達成状況 平成 18 年度	121
（2）最重点課題の達成状況一覧	122
（3）主な重点課題の達成状況一覧	125
（4）主な推進課題の達成状況一覧	133
（5）行財政改革アクションプラン 2010 の実施による財源効果《参考》	141
（6）2007 年ベストプラクティス表彰及び平成 19 年度職員提案表彰の結果	141

V	三鷹市の財政状況	平成 18 年度	
1	決算統計と普通会計		144
2	決算額の推移から見た特徴点（平成 9 年度～平成 18 年度）		144
3	平成 18 年度決算の特徴点		147
4	決算カードによる財政状況検証のポイント		148
5	財政指標		153
6	財政比較分析表		160
7	歳出比較分析表		166
8	財政状況等一覧表		171
9	財務諸表		172
	（1）バランスシート		172
	（2）行政コスト計算書		174
	（3）キャッシュ・フロー計算書		175
10	「三位一体の改革」の影響等		178
11	地方公共団体財政健全化法		180

別冊 資料編（目次）

I	平成 19 年度事業評価の結果		1
II	三鷹市の財務諸表（詳細版）	平成 18 年度	
1	バランスシート（普通会計）		208
2	行政コスト計算書		220
3	市全体のバランスシート		228
4	連結バランスシート		232
5	キャッシュ・フロー計算書		236
	資料（普通会計バランスシート）		240

「三鷹市自治体経営白書 2008」の構成

特別寄稿

自治体の地域情報化における課題について、國領 二郎 慶應義塾大学総合政策学部教授による解説・分析を掲載しています。

第Ⅰ章 基本構想で定める「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み

基本構想に定める自治体経営の基本的な考え方に則った施策展開の事例について、平成 19 年度の取り組みとして「地域再生計画の推進と国立天文台と連携した公開講座の実施」など 6 事業について掲載しています。

第Ⅱ章 第3次基本計画(改定)の達成状況

平成 17 年 3 月に確定した第 3 次基本計画(改定)の達成状況について、全 35 施策の進捗状況及び成果について説明しています。また、計画に掲載する主要事業等の個別事業の取り組み状況及び成果に関して、平成 19 年度事業評価結果の概要を掲載しています。

第Ⅲ章 「各部の運営方針と目標」の達成状況

「各部の運営方針と目標」の達成状況を掲載しています。「各部の運営方針と目標」は、① 部の使命・目標に関する認識、② 職員数、予算規模等の部の経営資源、③ 部の実施方針及び個別事業の目標等で構成されていますが、平成 19 年度の達成状況については、個別事業とその目標の実績について取りまとめています。

第Ⅳ章 行財政改革アクションプラン 2010 の達成状況

平成 17 年 3 月に確定した行財政改革アクションプラン 2010 の平成 19 年度の取り組みについて説明しています。また、行財政改革アクションプラン 2010 による平成 18 年度の財源効果や、ベストプラクティス(市長表彰)の結果等についても掲載しています。

第Ⅴ章 三鷹市の財政状況

平成 18 年度までの決算データをもとに、三鷹市の歳入・歳出等に関する財政状況を「類似団体」との比較も踏まえて説明をするとともに、平成 18 年度の財務諸表の概要版としてバランスシート、行政コスト計算書、キャッシュ・フロー計算書を掲載しています。また参考として、三鷹市における「三位一体の改革」の影響などについて掲載しています。

別冊 資料編

平成 19 年度事業評価の対象である 102 事業の評価表全件を掲載するとともに、平成 18 年度の財務諸表(詳細版)としてバランスシート(普通会計)、行政コスト計算書、市全体のバランスシート、連結バランスシート及びキャッシュ・フロー計算書を掲載しています。